

第370回所長会議議事要旨

日 時 令和8年3月27日(金) 13:30 ~ 14:05

場 所 管理棟大会議室 + ウェブ (Teams) 併用

出席者

【構成員】 浅井機構長、足立理事、長野理事、花垣理事、道園理事、齊藤素粒子原子核研究所長、船守物質構造科学研究所長、小関加速器研究施設長、波戸共通基盤研究施設長、小林 J-PARC センター長 (東海キャンパス所長)、東 QUP 拠点長

【オブザーバー】 三明監事、白木澤監事

【管理局等】 柴原総務部長、森安財務部長、原研究協力部長、永野施設部長、櫻井参事役、岡田安全衛生推進室長、島根監査室長、岩見人事担当課長、由井職員担当課長、仲島情報基盤管理課長、飯塚財務企画課長、飯塚経理課長、日下田契約課長、山口研究協力課長、枝川連携推進課長、根本共同利用支援課長、三國 QUP 業務推進室長、栃木資産マネジメント課長、福田東海管理課長ほか

議 事

【1】 第368・369回議事要録の確認について

資料1のとおり承認された。

【2】 協議

(1) 教員公募 (素核研・特任准教授1名・ミュオン中性子)

齊藤所長から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

(2) 特定有期雇用職員の雇用計画について (国際企画課・特別事務専門職)

原研究協力部長から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(3) 来訪研究員の受入について

花垣理事から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(4) 東京大学、高エネルギー加速器研究機構及びチェコ共和国・カレル大学、パラツキー大学とのハイパーカミオカンデ実験の建設に関する覚書の取り交しについて

花垣理事から、資料5に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。なお、花垣理事より、東京大学側で最終確認中のため、仮に修正が入った場合には4月以降に再審議の可能性がある旨が補足された。

(5) 国際共同研究プロジェクトに係る外国からの資金の受け入れに関する取り扱いの改正について

長野理事から、資料6に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(6) ハイパーカミオカンデ中間検出器 (IWCD) 建設工事にかかる費用について

道園理事から、資料7に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(7) 特定有期雇用職員の雇用計画について (広報室・特別技術専門職 (広報室長)) ※採用日の変更

足立理事から、別途配信資料に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(8) ダイヤモンドフェローの選考について

足立理事から、別途配信資料に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。なお、以下の質疑応答が行われ、浅井機構長より、無償活動となることのリスクに配慮しつつ、令和8年度にのみ限定して承認す

ると共に、同年度中に後任を確保することが条件とされた。

<質疑応答>

- ・史料室の業務量や無償での従事は問題にならないか。
 - 史料室の業務は定常的ではなく、過去資料の整理などが不定期に発生する。現在は、特別事務専門職と研究支援員の体制で対応しているが、業務と本人の自己研鑽の境界が曖昧な面があり、無償での関与が労働と見なされるリスクに懸念はある。
- ・後任はどのように探しているか。
 - 現状の体制が長期化するのは望ましくないため、退職者などから後任を探すこととする。
 - 75歳以上の別の関係者についても同様の考え方で対応する。

<協議事項（9）はクローズド協議>

- （9）無期転換権発生予定の有期労働契約職員の契約更新について（研究協力部・特定人事・1名）
原研究協力部長から、別途配信資料に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

【3】報告

- （1）特例給与の設定について
東拠点長から、別途配信資料に基づき報告があった。
- （2）協定等の締結について(国内機関)（資料配付のみ）
資料8は資料配付のみ

以上